

災害食のアンケートとテスト

新潟市消費者協会新潟支部

自然災害が頻発する昨今、市民の食糧備蓄の参考となるよう、災害食について調査しました。主な調査内容は①「災害食に関する市民の意識アンケート調査」②モニターによる「災害食品や発熱剤の使用テスト」です。

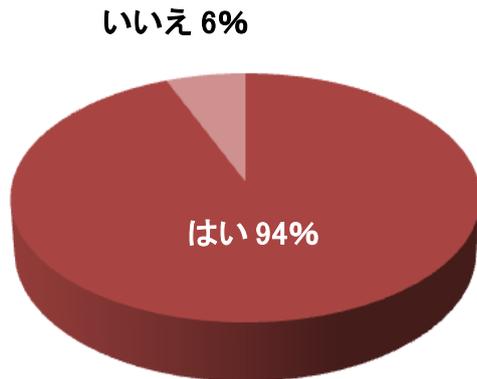
災害食に関する 市民のアンケート結果

実施期間 平成 26 年 8 月～平成 26 年 10 月
対象 新潟市消費者協会会員と新潟市一般市民
回答者 338 人（回収率 67. 67%）

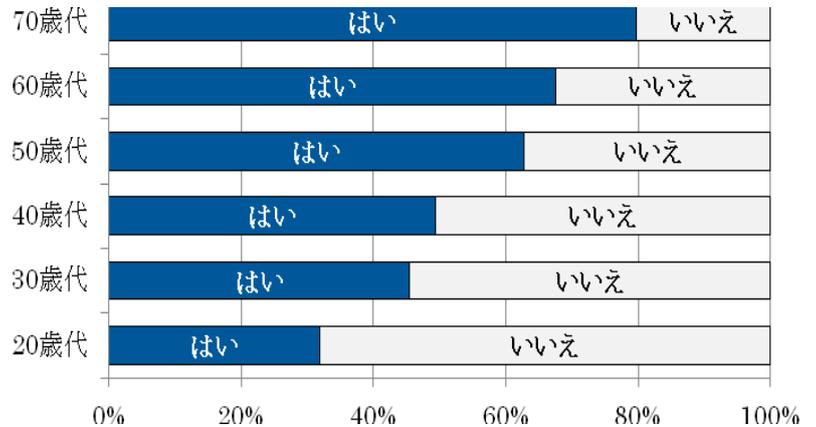
今調査で対象とした 災害食にふさわしい食品

- ① 普段から食べていて、電気・ガス・水道がストップしても食べることができる
- ② 災害時の生活に役立つ
- ③ 常温保存できる
- ④ 賞味期限の長さによりあまりこだわらない（概ね、6 カ月以上あればよしとする）

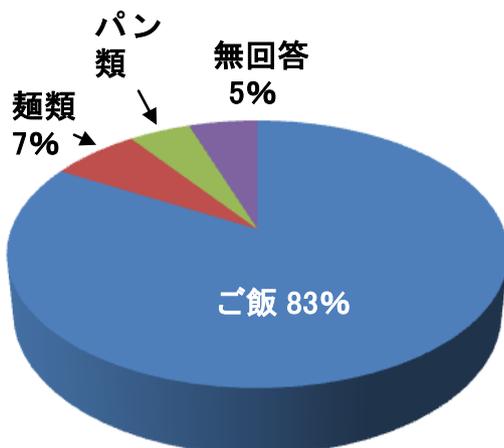
災害食があることを知っていますか



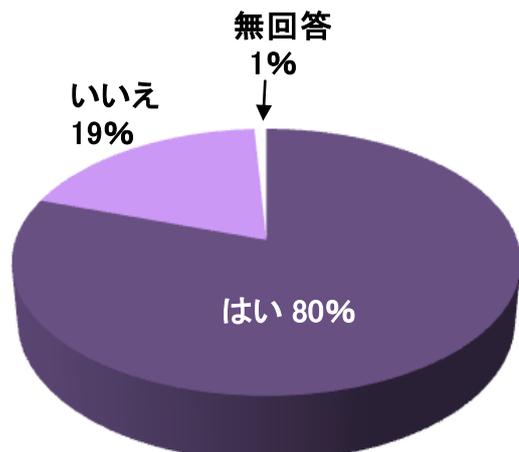
災害食を用意していますか



災害に遭った時、いちばん食べたい主食は
なんですか



今後、災害食の備蓄を考えていますか



モニターの使用テスト結果（モニター30人）

災害時ライフラインがストップしてもそのまま、もしくは水を加えれば食べられる主食の米飯5品と、災害に遭われた方が、「温かい食事がしたい」という声があったということで、発熱剤も加え、使用テストを行いました。

<p>ライス 72H 、ボンカレー72H 750 円</p>	<p>レスキューフーズ一食ボックス (牛丼) 1,047 円</p>	<p>ちらし寿司 340 円</p>
<p>＜商品の特徴＞ ・開封し、そのまま食べられるカレーセット ・低たんぱく化したご飯で、食事療法の方も利用できる</p>	<p>＜商品の特徴＞ ・加熱材がセットなので温かい食事がとれる</p>	<p>＜商品の特徴＞ ・アルファ化米使用 ・水を加えるだけで、ちらし寿司ができ、副食なしでも食べられる</p>
		
<p>＜モニター評価＞ ・ネーミングがわかりづらい ・水分多く柔らかい ・水も熱も使わず便利でよい ・ゴミが少なく避難所などではよい</p>	<p>＜モニター評価＞ ・味、食感は温かくおいしい ・備蓄したい ・発熱材の扱いに慣れておくとよい</p>	<p>＜モニター評価＞ ・災害時の食事に変化がつけられる ・ご飯がボソボソしている ・調理時間1時間は長い</p>
<p>新潟のごはん 200 円</p>	<p>小豆がゆ 158 円</p>	<p>モーリアンヒートパック（発熱材） 3 回使用分 463 円</p>
<p>＜商品の特徴＞ ・アルファ化米使用 ・水を加えるだけで少量食べきりサイズ</p>	<p>＜商品の特徴＞ ・開封してそのまま食べられる ・子どもから高齢者、体調を崩している人も利用できる</p>	<p>＜商品の特徴＞ ・火を使わず、水を注ぐだけで、食品を温められる</p>
		
<p>＜モニター評価＞ ・水で調理をすると芯が残る。ぼそぼそする。調理時間1時間は長い。 ・発熱材で温めると、普段食べているご飯と変わらない</p>	<p>＜モニター評価＞ ・小豆の旨みがある ・高齢者にも食べやすく、水分も取れて良い ・日頃の食事にも使えるので、備蓄したい</p>	<p>＜モニター評価＞ ・いろいろな食品が温められるので、備蓄したい ・蒸気が出るので、扱いになれる必要がある</p>